



## 高校野球のマナーとルールを学ぼう (第55回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。  
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

### マナー編 球種やタイミングを測る行為

回が替わって、投手が準備投球をする際に、攻撃チームの先頭打者が打者席に近づいて、タイミングを計りながらスイングしているのをよく見ますが、問題ないでしょうか?

県下9球場で熱戦が繰り広げられた第97回選手権大会兵庫大会も、滝川第二高校の優勝で閉幕しました。高校生のひた向きのプレイには感動を与えられるばかりですが、一方で、残念なケースも散見されました。攻撃回の交代時に打者あるいは次打者が打者席付近に近づき、準備投球時にタイミングを測る行為(準備投球に合せ、バットを振る行為)が見られました。球審は即座に同行為を控えるよう指導し、選手もスイングを中止しました。

各大会の運営留意事項のマナー向上として、「投手の準備投球時に打者は次打者が打者席付近に近づき、球種はタイミングを測る行為を止めさせる」と明記されています。

日頃の指導で、先頭打者にはダートサークル付近で速やかに打者席に入れるよう準備するよう指導している関係上、ダートサークル付近ではタイミングを測る行為を行いがちかもしれませんが、「投手と打者とは打者席で堂々と勝負する」という気持ちで臨んで欲しいものです。

### ルール編 投手の正しい投球、送球は?

今夏選手権大会兵庫大会では、投手がボークを宣告される場面を何度か見ました。高校生は正しい投球方法を理解していないのでしょうか?

当連盟審判部が実施している各種の審判講習会では、必ず「投手の投球と送球」を織り込み、講習会の協力校選手及び指導者の方にも一緒に聴講してもらっています。しかし残念ながら、第97回選手権大会兵庫大会では、まだ反則投球あるいはボーク適用の事例がありました。反則投球及びボークは、得点にも繋がる規則違反です。あらためて反則投球及びボーク適用事例の代表例と適用規則を紹介しますので、よく理解しましょう。

【例: ワインドアップポジションあるいはセットポジションの姿勢をとった投手が、投球関連動作を起こした後、自由な足を一旦止めて投球した】

【適用規則: 8・01(a)①、8・01(b)②、「注2」、8・01(d)】

以下に規則条文を記載します。

[8・01(a)①、8・02(b)②]

「打者への投球に関連する動作を起こしたならば途中で止めたり、変更したりしないでその投球を完了しなければならない。」

[8・01「注2」]

「本条(a)(b)項でいう“途中で止めたり、変更したり”とはワインドアップポジション及びセットアップポジションにおいて投手が投球動作中に故意に一時停止したり、投球動作をスムーズに行わずに、ことさら段階をつけるモーションをしたり手足をぶらぶらさせて投球することである。」

[8・01(d)】

「塁に走者がいないときに投手が反則投球をした場合には、その投球にはボールが宣告される。」

